

ふるさとを語る

日本の縮図と言われる兵庫県は、多彩な人材を輩出しています。今回は、元WBO世界ミニマム級王者の谷口将隆さんにお話を伺いました。

プロボクサー

たに

谷

ぐち

口

まさ

将

たか

隆

さん



©ワタナベボクシングジム

プロフィール

1994年、神戸市生まれ。小学校で少年野球と極真空手を始め、中学1年でボクシングと出会う。高校時代は神戸第一高等学校でボクシング部に所属し、インターハイでベスト8。大学時代は龍谷大学でボクシング部主将を務め、全日本選手権で3位の成績を2度収め、大学卒業後にワタナベボクシングジムでプロデビュー。元WBO世界ミニマム級チャンピオン。現役ボクサーの傍ら、ABEMAボクシングチャンネルの解説者としても出演。

■ごどもの頃

出身は神戸市垂水区。おじいちゃんが大の阪神ファンで、小学生のときに甲子園へよく連れて行ってくれました。オリックスのファンクラブにも入っていて、近所のヤフーBBスタジアム（当時）によく応援に行きました。六年生まで少年野球をやり、六年生後半から中学一年生までは極真空手を習いました。でも、どちらもかなり下手くそで、苦手でしたね。

■ボクシングをはじめ

中学生になり、フィットネスボクシングに入会しました。中学の三年間は、遊びの習いごとのような感覚で自由に練習し、高校でボクシング部に入りました。修学旅行の二週間後に近畿大会があり、修学旅行に行くのを迷っていたら、フィットネスボクシングの会長から「一生に一度しかないから行ってこい」と言われて。行ってみると楽しくて、旅行を選んで良かったと思いました。

大学には実家から通い、ボクシング部の主将を務めました。スポーツ推薦

で入学しましたが、学業に厳しい学校で、四回生の夏休みも学校へ行き、一つでも単位を落とすと卒業できない状況に追い込まれました。諦めないことは、そのときに覚えましたね。

また、授業を最前列で聞くようになり、真面目に聞くと結構おもしろい。特に、哲学と心理学はおもしろく、学んだことが今でも役立っていると思います。

ボクシングをはじめたときからプロでやりたいという思いがあり、大学卒業後に上京することを決めました。神戸は地元なので甘えてしまうと、東京で逃げ道をなくして頑張りました。

今は神戸に胸を張って帰れるようになりました。

■デビュー後、幾度も敗戦を経験

デビュー一年目は、六試合を全勝しました。二ヶ月に一回のペースで試合をするというのは、今では考えられない頻度です。ただ、二年目の日本タイトルマッチで僅差で負けてしまい、自分のせいではなく、ジャッジの見方とか、ちよっと運が悪かったと他責にしていました。その後もタイトルマッチで僅差での負けが続き、ずっと他責にしていました。



©ワタナベボクシングジム

■日本チャンピオン、そして世界チャンピオンになって

その後、世界タイトルの初挑戦で三敗目を喫してしまい、それは完敗でした。そのとき初めて、今まで他責にしていたけど、責任は自分にあるのだと思うようになり、どう改善していくかを考えるようになりました。何か流れが良い方向へ変わったのはそこからです。

また、ジムスタッフたちと『『聖人君子』になろう、善い行いをしていこう』ということを決めました。

世界チャンピオンになるために「運」がすごく大事だと思うのですが、どれだけ強くても、世界チャンピオンになれなかった人がとても多くいます。チャンスが来るまでの「運」や、チャンスが来たときに掴み取れる

「運」、因果応報というのがあると思っっているの、悪いことはしないと決めています。

えていました。結局、今年の一月に負けてしまいました。悔しさという前向きな感情がすごくありました。だから、もう一度やろうという気持ちになっっています。今までも僕にとっ

ずっとうまくいかないことの方が多かった。僕らしくていいかなと思います。

世界チャンピオンになったときは、自分のために頑張ってきたのですが、自分のことのように泣いてくれる人がいました。次は、一階級上げて、二階級制覇を目指していますが、今度は自分のためだけではなく、周りの人達にもう一度喜びを味わって欲しいと思います。頑張っています。

今は、前回の試合で感じた自分の足りない部分や、もっと強くするべき部分を意識しながら練習に励んでいます。



これからは背水の陣じゃないですが、力を尽くしていかないといけないと思います。まずは再起したい、立ち上がりたいですね。

■ふるさと・ボクシングへの思い

試合が終わったら、実家に帰ったりもしています。実家は変わらずに神戸にあり、帰るとほっとします。近くに母が大好きなお好み焼き屋さんがあり、そこには100%行きます。小学生ぐらいから家族で行っており、とてもおいしい。店は夫婦でされていますが、おじいちゃんおばあちゃんになっても元気でいて欲しいです。

もともとボクシングが好きで、神戸で趣味ではじめたのが、大学に進学できて仕事になって、今も好きなことで生かしてもらっているという、とても幸せな人生だと思っています。

■県人会の皆さまへ

東京で頑張っている兵庫県の人たちが多くいることを感じると、心強いです。そういう人たちと一緒に戦ってきたいですし、また、そういう人たちが夢を見せられるような存在でずっとありたいと思います。

■これからの目標

世界チャンピオンになってからは、負けたら引退じゃないのかと漠然と考